

# VMware Workspace ONE Intelligence

## 最新のデジタルワークスペース向けのインサイトとオートメーション

### 概要

VMware Workspace ONE™ のインテリジェンス サービスでは、提供されるインサイトとアプリケーションの分析を通じてデジタルワークスペース全体を把握することができます。また、ユーザーの使用環境の向上、リソースの最適化の促進、環境全体のセキュリティとコンプライアンスの強化につながる強力な自動化を実現します。

### 主なメリット

- 作業環境を犠牲にすることなく複雑な環境とセキュリティを管理
- ユーザーの使用環境に影響を与える可能性がある問題を迅速に解決
- デバイスとアプリケーションの使用状況を効率よく監視することでリソースを最適化
- セキュリティの脆弱性の検出と修正の自動化

### 重要なトレンド

多くの従業員は、自分で選んだデバイスを使って業務に必要なデータやアプリケーションへアクセスし、生産性を高めたいと考えています。そうしたなかで、企業に求められているのは、異種混在環境や、これまでの管理環境の枠を超えた管理対象の拡大への対応力です。ポイントソリューションを使用している組織は、ユーザーのニーズ、セキュリティ侵害、運用上の問題に十分に対応できず、事後対応に追われています。デバイスのデータ、アプリケーション、ユーザーに関する情報を包括的に把握できないことも、サイバー攻撃の脅威が増し、管理が複雑になっている一因です。

アプリケーションのパフォーマンス低下や社内サービスにアクセスできないなどの問題は従業員の生産性に直接影響するため、従業員のニーズとセキュリティの状況を常に把握し、優れたユーザー使用環境を提供することが組織にとっては重要です。その対策として、アプリケーションへのアクセスのブロックや制約の追加が一般的に行われていますが、そのような対応では、従業員の生産性が下がり、セキュリティ制御を回避しようという思いを従業員に抱かせてしまいます。IT 部門が求めているのは、従業員にとって利用しやすい環境とセキュリティの確保を両立させ、分析と自動化によって管理を簡素化できるソリューションです。セキュリティ侵害の対象範囲が広がるなか、境界のない組織に確かなセキュリティを提供できるのは、信頼性の高いセキュリティ パートナーとの協業により拡張させることができる最新の統合セキュリティ ソリューションだけです。

### Workspace ONE Intelligence とは

VMware Workspace ONE Intelligence は Workspace ONE の環境に対応したサービスです。その高度な可視化ツールと自動化機能を活用することで、一意の正確な情報源から得たデータに基づいた意思決定を下せるようになります。Workspace ONE Intelligence はデバイス、アプリケーション、ユーザーの各データの集約、分析、関連付けを通して、デジタルワークスペース環境全体に関する KPI を迅速にそして規模に関係なく、さまざまな方法でのフィルタリングと表示を可能にします。Workspace ONE Intelligence で重要と考えられる情報が表示された場合、IT 管理者は、組み込みの意思決定エンジンを使用して、さまざまなパラメーターに基づいて処理を実行するルールや、コンテキストに応じて自動で修正を行うポリシーを作成できます。Workspace ONE Intelligence を使用することで、従業員の使用環境を犠牲にすることなく、複雑な環境とセキュリティを容易に管理することが可能です。

### 主な機能



## ソフトウェア

- Workspace ONE Intelligence の利用には Workspace ONE が必要です。Workspace ONE Intelligence は Workspace ONE の特定のエディションに含まれています。
- Workspace ONE をご利用のお客様は Workspace ONE Intelligence を含むエディションにアップグレードするか、Workspace ONE Intelligence をアドオンとして購入できます。

**統合化されたインサイト：**デジタルワークスペース全体の可視化と、環境全体でデータに基づいた意思決定を可能にする詳細な情報の取得

機能	説明
包括的な情報の可視化	Workspace ONE Intelligence は、デバイス、アプリケーション、ユーザーの各データを 1 か所に集約して相互に関連付けることで、デジタルワークスペース環境全体の状況を包括的に表示します。
高度な表示機能	ユーザーは事前設定済みのダッシュボードを使用して、重要なデータを常に把握できます。このダッシュボードは、ユーザー独自のニーズに合わせてカスタマイズでき、環境内のセキュリティ リスク、アプリケーションの展開、デバイス管理、アプリケーションの使用状況、パッチの適用に関する推移を表示できます。
スピードとスケール	環境全体の情報をリアルタイムで入手できるため、ユーザーの使用環境の問題やセキュリティ リスクに迅速に対応できます。
カスタム レポート	レポートの生成やレポートのスケジュールを設定し、環境全体の詳細な履歴データを入手して組織内で共有できます。

**アプリケーションの分析：**組織やユーザー ベース全体でアプリケーションの開発と展開を最適化することで、問題の解決、エスカレーションの削減、ユーザーの使用環境の向上を短期間で実現

機能	説明
アプリケーションのパフォーマンス	アプリケーションのパフォーマンスを監視して、ユーザーの使用環境にマイナスの影響を与える問題や重要性の高い問題を迅速に解決します。また、ユーザーに及ぶ影響に応じて、開発作業に優先順位を付けることができます。デバイス、ネットワーク、オペレーティングシステム、位置情報、接続状態、アプリケーションのバージョンなど、モバイル アプリの使用状況を継続的に監視することで、アプリケーションのパフォーマンスに関する詳細な情報を入手できるほか、モバイル アプリケーションのパフォーマンスが、アプリケーションの展開や使用状況にどのように影響するのかを迅速に分析、定量化することが可能です。
展開状況と使用状況	環境内でのアプリケーションの展開状況と使用状況を測定し、使用頻度の高いアプリケーションをすぐに特定できるため、アプリケーション展開の ROI を容易に数値化できます。アプリケーションの展開状況と使用状況を可視化することで、経営陣が、モバイル アプリが従業員にどのような変化をもたらしているのかを把握しやすくなります。
ユーザーの振る舞い	アプリケーションでのもっとも重要なフローや処理を特定し、重要なビジネス メトリックに関連付けることができます。

**強力なオートメーション：ワークフローの自動化により環境全体の効率を向上**

機能	説明
事前設定済みのオートメーション	事前設定済みの自動化機能を使用して、導入してすぐにデジタルワークスペース環境全体を効率的に管理できます。
意思決定エンジン	豊富なパラメーターに基づいて処理を実行するルールを定義し、プロセスを自動化します。Workspace ONE Intelligence の意思決定エンジンには、VMware AirWatch® の 12 倍の数のパラメーターが用意されています。
コンテキストベースのポリシー	コンテキストに応じて自動修正処理を行うポリシーを容易に作成でき、ユーザーの使用環境、運用効率、セキュリティを向上できます。
拡張性	活用したいサードパーティ サービス (ServiceNow、Slack など) や REST API 対応のサードパーティ サービスにまでコンテキストに応じたワークフローを拡張することが可能です。

**主なメリット****ユーザー使用環境の向上**

Workspace ONE Intelligence により、アプリケーションの展開、アプリケーションの使用状況、ユーザーの使用環境に関する詳細情報を取得できるため、迅速な問題の解決、エスカレーションの削減、従業員の生産性向上を促進できます。

**リソースの最適化**

Workspace ONE Intelligence ではデバイスとアプリケーションの使用状況を可視化できるため、従業員が必要とするリソースを確保する一方で、IT 部門で使用頻度の低いデバイスやアプリケーションの支出を削減することができ、リソースの最適化につながります。

**セキュリティとコンプライアンスの強化**

Workspace ONE Intelligence では、大規模環境におけるセキュリティの脆弱性を検出し、自動的に修正します。また、コンプライアンス違反のデバイスを迅速に特定し、最新のセキュリティパッチを適用。ユーザーの行動に基づき、アクセス コントロール ポリシーを自動化します。

**主なユースケース****ユーザーの使用環境（従業員向けアプリケーション）**

モバイルの開発チームとモバイル担当のプロダクト マネージャは、ユーザーの使用環境にマイナスの影響を与えるパフォーマンスの問題に優先順位を付けて修正できます。IT 管理者は、Workspace ONE Intelligence により、アプリケーションの展開、アプリケーションの使用状況、ユーザーの使用環境に関する詳細情報を取得できるため、迅速な問題の解決、エスカレーションの削減、従業員の生産性向上を促進できます。

**ユーザーの使用環境（エンド ユーザー向けアプリケーション）**

Workspace ONE Intelligence では、アプリケーションのパフォーマンスと使用状況、ユーザーの行動を把握できるため、エンド ユーザーに最善のモバイル アプリ環境を提供できます。事業部門の責任者は、デバイス、ネットワーク、オペレーティング システム、位置情報、接続状態、アプリケーションのバージョンに関する詳細な情報を入手し、エンド ユーザーに合わせてアプリケーションを最適化して、最適なユーザーの使用環境を実現できます。

## 詳細情報

VMware Workspace ONE Intelligence の詳細については、<https://www.vmware.com/jp/products/workspace-one/intelligence.html> を参照してください。

VMware Workspace ONE Trust Network の詳細については、<https://www.vmware.com/jp/products/workspace-one/security.html> を参照してください。

また、アップデートされたアプリケーションが意図したとおりに動作しない場合、Workspace ONE Intelligence では自動的にこれを検出、以前の安定したバージョンへの自動的なロールバックが可能のため、ユーザーの使用環境への影響が最小限に抑えられます。また、ネットワークのパフォーマンスや位置情報に応じて、アプリケーション展開に関する推奨事項が表示されます。

## リソースの最適化

Workspace ONE Intelligence でデバイスとアプリケーションの使用状況の変化を知ること、リソースの割り当てとライセンスの更新を最適化できます。組み込みの自動化機能を使用して、一定期間使用されていないデバイスにタグを付けたり、デバイスの交換が必要なユーザーに通知したりできます。

## セキュリティとコンプライアンス

Workspace ONE Intelligence が提供するデジタルワークスペース環境全体の詳細な情報と自動化機能は、組織全体のセキュリティ対策レベルの向上に役立ちます。また、コンプライアンス違反のデバイスを迅速に特定し、最新のセキュリティパッチを適用。ユーザーの行動に基づき、アクセスコントロールポリシーを自動化します。Workspace ONE Intelligence のセキュリティ機能は、Workspace ONE Intelligence Trust Network を通して強化することが可能です。Workspace ONE Intelligence Trust Network では高度な脅威の検出と修正、継続的な監視、データリカバリなどの機能が信頼性に優れたセキュリティプロバイダーによって提供されています。

## 機能の比較

Workspace ONE および Workspace ONE Intelligence には、以下の機能が含まれています。

主な機能	Workspace ONE のみ	Workspace ONE Intelligence を 使用した場合
<b>環境全体のレポート：</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>高い粒度（196 以上のパラメーター）</li> <li>カスタマイズ</li> <li>ライブプレビュー</li> <li>高度なスケジューリングと共有機能</li> </ul>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<b>ダッシュボード：</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>事前設定済みのダッシュボード</li> <li>カスタマイズ</li> <li>履歴データ</li> </ul>		<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<b>アプリケーションの分析：</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>レポートとダッシュボードにおけるアプリのデータフィード</li> <li>Aptelligent アカウント</li> </ul>		<p>○</p> <p>○</p>
<b>オートメーション：</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>事前設定済みの自動化機能</li> <li>196 以上のパラメーターによるカスタマイズ</li> <li>すぐに利用可能なサードパーティ製ツールへの拡張</li> </ul>		<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>

